



はまぐち誠参議院議員、国交委員会にて 自動車整備士不足における対策を問う！

第213回
通常国会



3月22日(金)開催の参議院国土交通委員会において、**浜口誠 参議院議員**が自動車整備士不足への対応について大臣に問いました。



はまぐち誠 参議院議員

- 来年度、自動車整備士対策予算が約2億円(今年度の1.3倍)と増額となる。どういった取り組みにポイントを置くのか。整備士の職場体験事業などの入職者を増やす取り組みを継続していくのか伺いたい。
- 公表されるガイドラインのポイントを伺いたい。また、ガイドラインの浸透、働きやすい職場の実現に向けた後押しをお願いします。

【齊藤国土交通大臣】の答弁は動画をご視聴ください。



齊藤国土交通大臣

【ガイドラインのポイント】 https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk9_000023.html

- ① フレックスや時差出勤など従業員個々のニーズに合った働き方、労働条件の実現
- ② 整備士同士のコミュニケーションの促進など、風通しの良い職場の実現
- ③ 作業の安全確保やキャリアアップなどに関する社内教育の充実による人材開発
- ④ 労務費等の適正な価格転嫁などによる若年層を含む賃金確保

浜口誠参議院議員

- 自動車整備専門学校への外国人の入学生が増加していると認識。現状について実態を伺いたい。また、そうした留学生への資格外活動許可により、学業への影響が出ていると聞く。週28時間の就労時間制約の考え方を伺いたい。

【政府参考人】の答弁は動画をご視聴ください。